

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 事業名 | 地域の子どものための体験活動の拠点整備プロジェクト |
| 事業主体 (連絡先) | 特定非営利活動法人わおん 塩尻市広丘郷原685番地 |
| 事業区分 | (3) 教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 2,046,410円 (うち支援金: 1,608,000円) |

事業内容

- ①建物の安全を確保するための修理・改善**
施設を安全に活用できるよう、施設整備を実施。また、床下の整備は自分たちで実施した。
- ②旧柏茂会館を他団体にも活用してもらうための準備・PR**
施設の名称を決め、貸出できるよう整備。施設の貸し出しを行った。また、ホームページやパンフレットを作成し、利用促進を行い始めた。
- ③平日も含めた体験活動の拠点とするための整備**
未就園児の親子を対象にした「里カフェぽっかぽか」を6月から開始した。



【里カフェぽっかぽかの様子】

【目標・ねらい】

- ①建物の安全を確保する
- ②他団体にも活用してもらう準備
- ③平日も含めた体験活動の拠点とするための整備

事業効果

- ①建物の安全を確保するための修理・改善**
施設の湿気対策には一定の効果があり、施設としてより安全に活用できるようになった
- ②旧柏茂会館を他団体にも活用してもらうための準備・PR**
ホームページやパンフレットを作成し、PRできるようになった。貸し出しを2件行った。
- ③平日も含めた体験活動の拠点とするための整備**
未就園児の親子が全10回で延べ128人参加。参加者同士の交流や情報交換できる場として、平日にも体験活動の拠点とできた。

※自己評価【B】

【理由】

里カフェぽっかぽかでは、未就園児の親子が里山や自然に関心を持つことができるようになった。施設整備のおかげで、子どもたちの体験活動の場となっている。

今後の取り組み

引き続き体験活動の拠点として安全に利用できるよう、施設整備を継続していく。施設の稼働率を上げ、より子どもたちの体験活動が充実するように、施設のPRや活用をすすめていく。施設を利用してわおん♪の事業を充実させるとともに、他団体への貸し出しを実施していく。

特に平日の利用を増やせるよう、里カフェぽっかぽかを継続するとともに、企業や団体の研修やノマドワークなどに活用してもらえよう、施設環境を充実させていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある